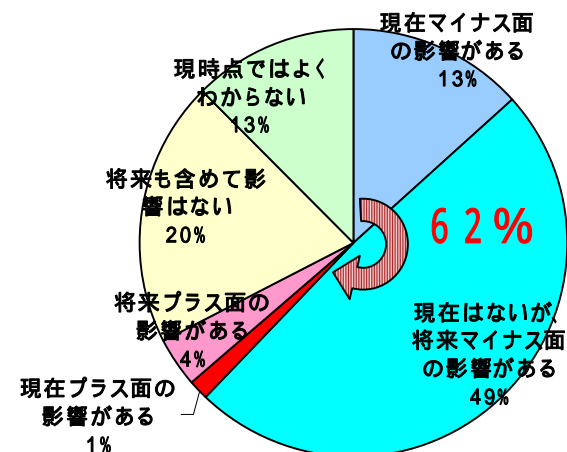


総括

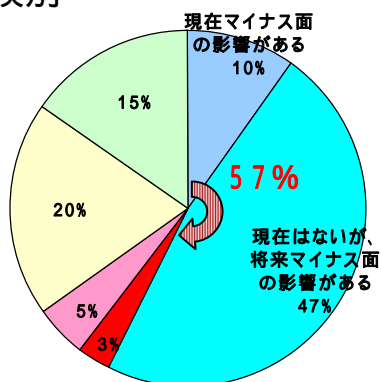
管内286社(大企業131社、中小企業155社)に電話ヒアリングを実施。

62%の企業が現在又は将来にマイナスの影響があると回答。設備投資や資金調達の計画の見直しが必要、収益への悪影響を心配するなどの声が多い。また、製造業では、金利上昇により今後の円高シフトを懸念する声もある。

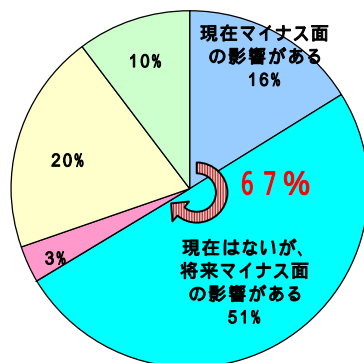
特に、中小製造業(87社)は、「原油・原材料の高騰や大企業へ納入する製品単価の引き下げ要求という厳しい状況の中で、ゼロ金利解除による今後の金利上昇は、経営に大きな影響を与える」、「今後、日銀には、当面追加的な引き上げを止めて欲しい」という声が多い。



規模別



大企業

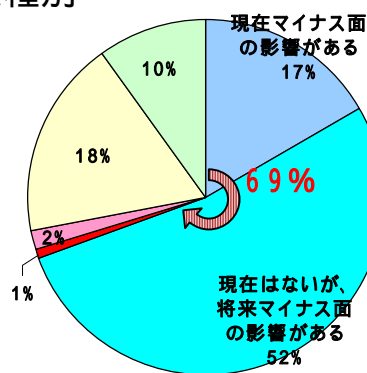


中小企業

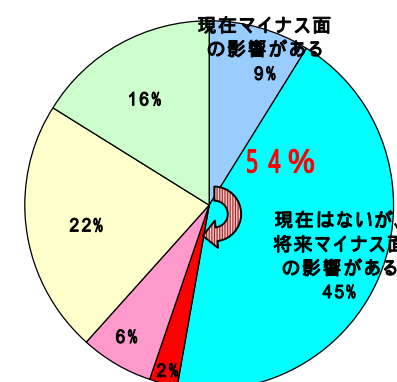
「現在及び将来にマイナス面の影響がある」とする回答が、大企業では57%であるが、中小企業では67%と多くなっている。

銀行借り入れの依存度が高い中小企業では、返済や、変動金利に比べ利率の高い固定金利融資への切り替え等の余裕もなく、設備資金のみならず運転資金の調達にも不安があり、更なる金利の上昇は、「死活問題」との声もある。

業種別



製造業



非製造業

「現在及び将来にマイナス面の影響がある」とする回答が、非製造業では54%であるが、製造業では69%と多い。これは、設備投資等の資金需要が製造業の方が大きいことによる。

また、特に中小製造業では、87社中86社の企業が「マイナスの影響を受ける」と回答している。

近畿経済産業局管内のゼロ金利解除に関する影響

資料2 - 2

企業からの生の声

	影響あり(プラス)	影響あり(マイナス)	影響なし
大企業 製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕資金等の運用において、将来的に金利収入増加の見込み。 (大阪府 化学 / 京都府 電子部品・デバイス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降の設備投資計画、資金調達計画を見直す可能性あり。(兵庫県 プラスチック製品) ・金利上昇は為替相場を円高にシフトさせると予想され、影響は大きい。(大阪府 一般機械 / 兵庫県 電子部品・デバイス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・この程度の利上げ幅は織り込み済みで、ほとんど影響はなし。(大阪府 化学) ・借入金ゼロの経営のため、影響なし。(福井県 プラスチック製品)
大企業 非製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・金利の上昇予想による住宅の駆け込み需要に期待。(大阪府 建設業) ・金利上昇による預金(退職金等)の資産効果により、旅行増を期待。(大阪府 団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の金利の上昇によっては、有利子負債の利払いが収益に影響。(大阪府 運輸業) ・現在実行中の投資計画を変更することはないが、将来的には投資計画の見直しが必要。(大阪府 卸売業 / 同 小売業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債はほとんどが長期固定金利により調達したもので、よほど大きな金利上昇が続かない限り影響は限定的。(大阪府 電気・ガス業)
中小企業 製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・必要資金は全て内部留保を充当しているため、結果として、将来的に預金金利収入増加の見込み。 (滋賀県 電子部品・デバイス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の金利上昇はボディーブローのように効いてくるのは必至、ゼロ金利解除は「死活問題」。(大阪府 金属製品) ・原油・原材料の高騰、単価引き下げ要求の中でのゼロ金利解除は影響必至。(大阪府 金属製品) 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達はキャッシュフローの範囲内であるため、経営に影響なし。(福井県 繊維 / 同 窯業・土石)
中小企業 非製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・借入金より現金預金の方が多いため、金利上昇は財政的にプラス。(大阪府 専門サービス業) ・金融機関の同種の融資金利の上昇は、自社ローンの提供につきビジネスチャンス。(大阪府 自動車小売業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「薄利多忙」な余裕のない中での金利上昇は、借入金等に影響し、二重苦、三重苦の状況。(大阪府 卸売業) ・取引先金融機関から利上げの通告。年間100万円の負担増。(兵庫県 宿泊業) 施設増設計画を中止。(和歌山県 宿泊業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資等に関連がない業態につき、あまり影響なし。(大阪府 情報・通信業) ・既存の借入金は固定金利であるため、影響なし。(大阪府 専門サービス / 奈良県 美容業)

金融機関の声

・貸出金利を上げている所はなく、今後については様子見(預金は既に利上げ)。2行庫で問合せ増。長期固定貸付の照会。地域経済への影響が出てくるとみている所は1行庫。将来一層の利上げがあれば影響出るとみているところが大勢。

・当行は、他行との融資競争が激しく、貸出金利をすぐには上げられない状況。取引先企業からは、「金利を上げるなら、他行から借りるぞ」と言われることが多い。

・関西の景気は回復基調と言われるが、和歌山県の経済はさほど回復しておらず(地域間格差)、このうえ、経済の悪化要因(ゼロ金利解除)が重なれば、企業収益に悪影響が出る可能性が高いと思われる。
(以上10行庫に聴取)